



筑波大学 陸域環境研究センター



プレ戦略イニシアティブ(研究拠点提案型)H23~H25

ALL TSUKUBA NETWORK

for Catchment Water Environment Study Focusing on Natural Symbiosis and Sustainability

オールつくばの連携による持続可能な流域圏水環境研究拠点

水文談話会

第 119 回 陸域環境研究センターセミナー

第 12 回 プレ戦略イニシアティブ All TSUKUBA Network セミナー

大気降下窒素が河川水質に与える影響について



筑波大学
University of Tsukuba

陸域環境研究センター

田林 雄

Dr. Yu TABAYASHI

流域の河川水質は地質や土地利用・土地被覆によって説明されることが多い。一般に森林域の河川水は都市域よりも水質が良好であることが多いが、森林域でも高い濃度の硝酸イオンが検出される事例がある。この理由のひとつとして大気降下窒素の影響が考えられるが、流域の位置する地理的条件によって硝酸イオンの濃度は大きく異なる。今回、埼玉県の荒川上流域と島根県の斐伊川上流域の溪流で行った研究を対象に、大気を介して負荷される窒素が河川水として流出する過程について紹介する。

■ PLACE :

筑波大学 総合研究棟A-205

DEPARTMENT OF INTEGRATIVE ENVIRONMENTAL SCIENCES A-205

■ DATE :

2013年2月15日(金) 17:00- FEB.15 (FRI), 2013 17:00-

【お問合せ】陸域環境研究センター 事務室 029-853-2532